

私の GALLERY
チェーンソーアート



YOSHIYUKI TAKATO

北秋田チェーンソーアートクラブ
スタッフ&カーパー

高頭 義幸さん

北秋田市阿仁銀山字下新町119-6
株式会社 古河林業(敷地内)
TEL.090-5593-6750



「3年前、北秋田市で開催された植樹祭のために依頼されたのがきっかけでした。全くやったことがなかったし、最初はできないと思いましたが、気がつくとはまっています。いまでは毎日、仕事の時間以外は作り続けているという感じですね」

もともと、間伐材を利用しようという試みから始まったというチェーンソーアートは、どこでもできるといえるものではない。迫力ある音が出るし、材料の木材も必要だ。その

深い山々に囲まれ、昔からマタギの里と呼ばれてきた北秋田市の阿仁地区。高頭義幸さんがこの環境にほれ込み、住み始めて11年。林業に従事しながら、チェーンソーを駆使して丸太から彫刻作品を生み出すチェーンソーアートを手がけている。

点、阿仁は理想的な条件を備えていた。「丸太を見て、どんな形になるかを想像する時が面白い」という高頭さんの作品は、フクロウや熊、鳥や人魚の像などさまざまあるが、主に注文を受けてから作るスタイルが多いという。

高頭さんは昨年開催された第2回東北チェーンソーアート競技大会で、見事チャンピオンの座を獲得した。丸太の状態から彫り進める過程は、まさにシヨウとして楽しむことができるエンターテインメントだ。

「チェーンソーアートで、いろんな人との出会いがあり、それがいちばんうれしいことでした。今後は町の活性化にもつながればと考えています」



木立の中に、
ワイルドな彫刻の
音が響く。



自然の中で、木の彫刻を作っている人がいる。使う道具は木を切るチェーンソー。ダイナミックなイメージながら、作品には繊細な技術と、森のぬくもりがやどっている。

